

按苦蕎麥今無種之者蓋此今云田蕎麥乎見于左

右

一種田蕎麥生濕地似蕎麥而莖赤葉微圓不尖秋開花亦似蕎麥而淡紅白色子亦似蕎麥

一種溝蕎麥

生溪澗溝邊葉細長秋開花似田蕎麥結子作小穗以之爲伊之美加波者赤地利草見于山草部

〔重修本草綱目啓蒙十七〕苦蕎麥

ミヅソバミヅソバカイルグサ加州、タソバイヌソバ

豫州

カイルタデ和州カイルコグサ石州モグラ能州ウシノヒタヒ佐州ウシノカ

ラビタヒ津輕

ギウメンサウ豊後カイルマタ播州コバメバナ丹波クハガタサウ譲

ハチモンジサウ江州

ハチノジサウ濃州ギャルクサ越前

路旁溝中ニ多シ春子生ズ長ジテ數寸或ハ一二尺ニ至ル莖弱シテ藤蔓ノ如シ葉互生ス蕎麥葉ニ似テ長ク上ニ一尖アリ下ニ兩尖アリテ牛面ノ形ノ如シ葉ノ中央ニ黒ク八ノ字ノ形アルモノアリ故ニ八文字草ノ方言アリ夏月莖上ニ花アリ扛板歸花ノ如ク白色又紅色ノ者アリ後實ヲ結ブ小ニシテ三稜アリ蓼子ニ似タリ霜後苗根共ニ枯ル子落テ地ニアリ春ニ至テ生ズ

〔農業全書二五穀〕蕎麥

そばを種る事五月に地を耕し廿日廿五日もして草腐りたれて後又耕す事二三遍晴天を見て細かにかき立秋七月の節の前後たねを下すべし厚く蒔べし薄ければ實少し大かたはちらし蒔にすべし灰を合せたるこゑを以てうゆべし瘠地ならば横筋をせばくきり糞を多く敷て灰や牛馬の糞を以ておほふべしそばは玄ほけを好むゆへ若鹽屋に近き所ならば鹽竈の焦灰又は其邊りの鹽玄みたる土を用ひてうゆれば實甚多し又云そば地は耕すこと三遍なれば三重に實がなる物なり下の二重は黒く上の二重はいまだ青き時刈收むべし残らず上まで黒きを待べからず刈玄ほをそければ實落る物なり又蕎麥を蒔に必雨濕にあはざるやうにすべし蒔時雨にあひ又は玄めりたる地に蒔たるはいか程こやしを用ひても盛長しがたく瘠て實少